

# 山口県病院協会 会報

2023 **7月号** No.80

- 発行日 令和5年7月1日
- 発行所 一般社団法人山口県病院協会  
〒753-0814 山口市吉敷下東三丁目1番1号
- 電話 083-923-3682
- FAX 083-923-3683
- 発行人 三浦 修
- 印刷所 大村印刷株式会社
- メールアドレス info@yha.or.jp
- ホームページ <http://www.yha.or.jp>



## 岩国市立錦中央病院

〒740-0724

住 所 岩国市錦町広瀬1072番地1

電 話 0 8 2 7 - 7 2 - 2 3 2 1

F A X 0 8 2 7 - 7 2 - 3 3 6 1

URL : <http://www.nishiki.org>

## CONTENTS (目次)

会員病院紹介	2 ページ
令和5年度定時総会	3 ページ
令和5年度顧問・役員一覧	4 ページ
優良職員表彰受賞者一覧	4～6 ページ
協会役員コーナー	7 ページ
病院スタッフコーナー	8～9 ページ
研修会報告	10ページ
諸会議報告	11ページ
お知らせコーナー	11～12ページ

## 会員病院紹介

### 病院長挨拶 ～岩国市立錦中央病院～



岩国市立錦中央病院  
病院長

池田 正仁

岩国市立錦中央病院は、錦帯橋で有名な清流錦川の上流で、緑豊かな美しい自然に育まれた岩国市錦町にあり、住民の医療と福祉の向上に努めています。疾病の治療だけでなく、地域住民の健康教育、疾病の予防からリハビリテーションまで総合的に対応できる地域医療の拠点としての役割も担っています。実臨床において、形而的には治し支える病院であり、地域にとっては基幹病院（救急告示病院）というのが、当院の立地を反映した特徴でもあり現状であります。錦町唯一の病院であることの自覚と矜持を持ち、いつでも誰にでも真心のこもった公平・公正な医療を提供し、地域住民の心の拠り所となることを院是としております。

さて、小説の世界では、「作家は処女作に向かって成熟する」と言われます。作家が初めて世に発表した作品は、その後の彼（彼女）の文学の全ての萌芽を含んでいるという意味であります。これは小説だけでなく全てに通じるものと、私は確信しています。逆説的に言えば、「物事の始まり」には全ての可能性を包含させなくてはならないのです。過日着任した私は、この「物事の始まり」…錦中央病院における病院長としての任務のスタートの真っ只中におります。将来、回顧したとき、「ああ、あの時にこの病院に大きなポテンシャルが植え付けられたのだ」と皆に認識してもらえるよう、今を生き、今に集中する毎日であります。

また、三重苦の著述家ヘレン・アダムス・ケラー女史は次のように言っています。「希望は人を成功に導く信仰である。希望がなければ何事も成就するものではない」と。地域の皆様から、「錦中央病院では、お薬だけでなく“希望”も処方してくれる」と言って頂けるよう、全職員一丸となって刻苦精進してまいり所存であります。

山口県病院協会の皆様の一層のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

#### 〈病院の現状〉

##### 1) 概要

名 称 岩国市立錦中央病院  
開 設 者 岩国市長 福田 良彦  
住 所 山口県岩国市錦町広瀬1072番地1  
電 話 0827-72-2321  
F A X 0827-72-3361  
E-Mail kanri@nishiki.org  
U R L <http://www.nishiki.org>  
病 院 長 池田 正仁  
病 床 数 一般病床53床  
診 療 科 内科、外科、整形外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、  
泌尿器科、眼科、皮膚科

昭和40年4月 現在地付近に新築され、国民健康保険錦中央病院と改称  
昭和60年3月 現在の場所に新築移転  
平成18年3月 市町村合併により岩国市立錦中央病院と改称 現在に至る

##### 3) 特徴

岩国市立錦中央病院は岩国市の北部に位置し、県下最高峰の寂地山や1,000メートル級の山々に囲まれ、中心部を県下最長の錦川と支流の宇佐川が貫流しています。

昭和22年に広瀬町国民健康保険組合の直営診療所として開設以来76年間、地域の人々に支えられながら玖北の地に寄り添い、健康で豊かな暮らしのお役に立つことを目指して共に歩んでまいりました。

当院の理念である「私たちは、地域の人々にいつでも、だれにでも、より良い医療を提供し、愛され、親しまれ、信頼される病院づくりに努めます。」の下に、へき地医療を守り、地域に必要とされる病院であり続けたいという思いで、スタッフ一同今後も患者様へ寄り添った医療を提供できるよう努めてまいります。

##### 2) 沿革

昭和22年 旧広瀬町国民健康保険組合の直営診療所として開設  
昭和25年4月 病院として認可  
昭和27年10月 広瀬町国民健康保険直営病院となる  
昭和30年4月 町村合併により錦町国保病院と改称

## 令和5年度 定時総会開催

日時 令和5年6月1日（木）15：00～16：15

場所 山口グランドホテル 鳳凰の間  
（山口市小郡黄金町1-1）



総会風景

### 開会

4年ぶりにコロナ禍以前の規模での総会は三浦会長の挨拶とともに開会した。

その後来賓の村岡副政 山口県知事（代理：平屋隆之副知事）、柳居俊学 山口県議会議員（代理：森繁哲也 県議会環境福祉委員会委員長）、加藤智栄 山口県医師会会長（代理：中村洋 山口県医師会副会長）より、それぞれ祝辞が述べられた。



平屋氏



森繁氏



中村氏

次いで、病院優良職員の表彰状授与式が行われ、受賞者91名を代表して山口県立総合医療センターの渋田秀美氏に表彰状と記念品が授与された。



渋田秀美氏

### 総会成立宣言

審議に先立ち、事務局より、会員総数128名に対して出席者107名（うち委任状67名）である旨の報告がなされ、三浦議長により総会が有効に成立する旨宣言がなされた。

### 議事録署名人選出

本日の議事録署名人として、三田尻病院神徳理事長及び阿知須同仁病院西田理事長が選出された。

### 報告事項

議案に先立ち、事務局より令和5年度事業計画及び収支予算について詳細に説明が行われた。

### 議案審議

#### ○議案第1号

「令和4年度事業報告及び収支決算の承認について」  
事務局より、令和4年度に実施した各種事業内容について説明と報告がなされた。さらに、令和4年度における当協会の収支決算状況について収支決算書に基づき説明と報告がなされた。

続いて尾中監事より、令和4年度の事業並びに決算関係資料について城甲監事とともに詳細に検討した結果、いずれも適正かつ適切に処理されている旨監査報告がなされ、審議の結果、原案どおり可決承認された。

#### ○議案第2号

「任期満了に伴う理事及び監事の改選について」  
事務局による任期満了に伴う理事及び監事の改選についての説明に続き、小田裕胤選挙管理委員長から立候補者全員当選の宣言が行われ、新役員が選任された。

#### ○議案第3号

「顧問の委嘱の承認について」  
顧問4名の委嘱について事務局より説明がなされ、承認された。

### 閉会

三浦議長より、本日の定時総会はすべて終了したことが告げられ、議事の進行への協力に対する感謝の意が述べられ閉会となった。

### ◎特別講演

定時総会閉会后、前厚生労働省事務次官の吉田学氏による特別講演「2040年を展望した医療の姿～急速に進む医療・ヘルスケアDX～」が行われ、71名が聴講した。



吉田学氏

## 令和5年度 一般社団法人山口県病院協会 顧問・役員名簿

令和5年度一般社団法人山口県病院協会定時総会及び総会後に開催された臨時理事会において、顧問・役員は下記のとおり選任された。

顧 問	江 里 健 輔	(阿知須同仁病院 顧問)
〃	小 田 裕 胤	(美東病院 顧問)
〃	木 下 毅	(光風園病院 理事長)
〃	水 田 英 司	(小野田赤十字病院 名誉院長)
会 長	三 浦 修	(防府胃腸病院 理事長病院長)
副 会 長	神 徳 眞 也	(三田尻病院 理事長)
〃	馬 場 良 和	(周東総合病院 病院長)
常任理事	高 橋 幹 治	(片倉病院 理事長)
〃	玉 木 英 樹	(玉木病院 病院長)
〃	松 谷 朗	(新南陽市民病院 病院長)
〃	茶 川 治 樹	(岩国市医療センター医師会病院 病院長)
〃	西 田 一 也	(阿知須同仁病院 理事長病院長)
〃	稲 野 秀	(長門一ノ宮病院 理事長病院長)
〃	木 下 祐 介	(光風園病院 病院長)
理 事	橋谷田 博	(周南記念病院 病院長)
〃	吉 居 俊 朗	(みどり病院 理事長病院長)
〃	末 兼 浩 史	(山口赤十字病院 病院長)
〃	藤 岡 顕太郎	(山陽小野田市民病院 病院長)
〃	沼 文 隆	(徳山中央病院 病院長)
〃	西 崎 隆 文	(宇部興産中央病院 理事長病院長)
〃	吉 野 茂 文	(関門医療センター 病院長)
〃	吉 水 一 郎	(よしみず病院 理事長)
監 事	尾 中 宇 蘭	(尾中病院 理事長病院長)
〃	郷 良 秀 典	(済生会山口総合病院 病院長)

## 受賞おめでとうございます

### 令和5年度 病院優良職員表彰 受賞者名簿

病 院 名	役 職	姓 名
阿 知 須 共 立 病 院	保 育 士	早 瀬 順 子
〃	臨 床 検 査 技 師	藤 岡 幹 子
阿 知 須 同 仁 病 院	医 事 課 職 員	福 田 知 子
〃	病 棟 師 長	本 永 香 代 子

病 院 名	役 職	姓 名
岩国市医療センター医師会病院	看 護 師	對馬 眞由美
〃	看 護 部 長	安永 彰子
宇部記念病院	病棟看護科長	金村 敏子
〃	外来看護科長	三村 本恵美
宇部興産中央病院	看 護 師 長	松本 田哲也
宇部仁心会病院	放射線部主任	飯野 智美子
宇部西リハビリテーション病院	看 護 師	天江 見三枝
〃	看 護 師	岡本 内永裕
宇部リハビリテーション病院	看 護 師	岡本 内永裕
〃	看 護 主 任	河上 鴛萩
大 田 病 院	医療福祉相談室主任	上村 淵山
〃	准 看 護 師	鴛萩 山浦
岡 田 病 院	看 護 師	三山 本雲
岡 田 病 院	臨床検査技師	山出 品福
〃	介 護 福 祉 士	山出 品福
小郡第一総合病院	看 護 師	福山 中田
〃	看 護 師	福山 中田
小郡まきはら病院	看 護 副 師 長	森 井 幸智
〃	看 護 副 師 長	吉石 齋藤
尾 中 病 院	准 看 護 師	川本 本美香
〃	看 護 主 任	福村 小吉
片 倉 病 院	栄 養 士	小吉 相濱
〃	施設管理室営繕担当	末松 河判
玖 珂 中 央 病 院	看 護 補 助 者	川久保 品長
〃	准 看 護 師	福田 沼中
厚南セントヒル病院	看 護 主 任	村野 本美子
光 風 園 病 院	看 護 部 長 補 佐	小坂 原由美
〃	栄 養 士	吉相 濱野
高 嶺 病 院	准 看 護 師	相濱 末松
〃	看 護 師	濱野 廣崎
坂 本 病 院	看護補助者副主任	河村 重野
〃	看 護 師	判野 本美子
佐々木外科病院	栄 養 科 主 任	川久保 品長
サンポプラ病院	看 護 助 手	長田 沼中
山陽小野田市民病院	看 護 師 長	小田 村上
重 本 病 院	准 看 護 師	河村 津森
〃	ケアワーカー	久保 品長
柴 田 病 院	外 来 師 長	品長 沼中
周 南 病 院	准 看 護 師	田中 篤
周南記念病院	准 看 護 師	田中 篤
周南リハビリテーション病院	リハビリテーション部主任	小田 村上
〃	看 護 師 長	河村 津森
桑 陽 病 院	連携室相談員	村津 森洋
田 代 台 病 院	准 看 護 師	津森 洋
〃	看 護 補 助 者	佐々木

病 院 名	役 職	姓 名
都 志 見 病 院	医 事 課 長 補 佐	木 村 喜 代 美
〃	訪 問 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 室 長	杉 山 英 樹
徳 山 医 師 会 病 院	臨 床 検 査 技 師	福 山 永 田 美 佐 子
〃	看 護 補 助 者	山 田 愛 子
徳 山 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 病 院	事 務 職 員	青 宮 木 本 育 美 和 子
〃	保 育 士	野 崎 美 愛 子
錦 仁 保 病 院	准 看 護 師	澤 井 恵 彦 子
〃	准 看 護 師	福 本 俊 涼 子
光 中 央 病 院	医 事 課 職 員	的 津 的 場 田 節 子
福 永 病 院	看 護 補 助 者	的 場 口 和 香 美 里 子
〃	支 援 相 談 主 任	山 中 上 田 陽 晶 子
藤 政 病 院	管 理 栄 養 士	川 崎 嶋 秀 三 枝 子
扶 老 会 病 院	看 護 補 助 者	相 磯 宮 村 登 和 子
防 府 病 院	事 務 員	岡 野 本 末 寛 子
〃	准 看 護 師	吉 末 弘 中 本 静 美 千 子
防 府 胃 腸 病 院	経 営 企 画 部 副 部 長	山 松 若 齊 藤 幸 恵 子
〃	三 階 病 棟 主 任	山 下 裕 千 恵 美 代 子
防 府 保 養 院	看 護 補 助 者	稲 山 下 純 理 長 志 美 子
防 府 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 病 院	看 護 補 助 者	岡 田 野 田 隆 秀 久 美 子
〃	看 護 補 助 者	吉 竹 内 武 則 野 友 理 子
松 本 外 科 病 院	事 務 員	西 野 根 利 生 子
三 田 尻 病 院	事 務 職 員	山 田 村 野 利 さ つ 子
〃	看 護 師	
み ち が み 病 院	看 護 師	
み ど り 病 院	管 繕 主 任	
〃	准 看 護 師	
桃 崎 病 院	外 来 看 護 リ ー ダ ー	
〃	病 棟 ケ ア ワ ー カ ー 主 任	
安 岡 病 院	介 護 主 任	
〃	看 護 師	
山 口 県 済 生 会 豊 浦 病 院	副 院 長	
〃	医 療 技 術 部 統 括 マ ネ ー ジ ャ ー	
山 口 県 立 総 合 医 療 セ ン タ ー	中 央 放 射 線 部 技 師 長	
〃	中 央 検 査 部 技 師 長	
山 口 大 学 医 学 部 附 属 病 院	副 看 護 部 長	
山 口 よ し き 病 院	看 護 師	
〃	事 務 職 員	
山 口 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 病 院	作 業 療 法 主 任	
〃	看 護 補 助 者	
湯 野 温 泉 病 院	薬 局 長	
〃	看 護 師	

受賞者人数 91名

## 協会役員コーナー

### 地域の皆様に親しまれ、信頼され、愛される病院を目指して



医療法人社団神徳会  
三田尻病院  
理事長

#### 神徳 眞也

我が国の少子高齢社会は、今後も長く続くことが確実であり、老夫婦のみの世帯や高齢者の一人世帯も今後ますます増加していくと考えられております。複数の慢性疾患を有し医療、介護と生活支援を必要とする高齢者が安心して暮らしていくことのできる地域を創るため、地域包括ケアシステム構築が求められています。病病連携、病診連携を基にした、安心安全な医療を提供するだけでなく、介護・リハビリテーションとの連携、保健・福祉等との連携、住まいでの生活支援、介護予防支援等、様々な職種がその特徴を生かしつつ、効果的に連携した支援が提供される地域を創ることが求められています。

いま私たち三田尻病院が目指しているのは、この地域包括ケアシステムのハブとしての役割を担う病院となることです。今日まで私たち三田尻病院では、慢性疾患を有する患者様の外来診療・検診予防医療を提供し、入院が必要となった時には遅滞なく受け入れ、治し支え、自院では対応できない医療や専門的検査が必要になった時には適時、適切な医療機関に紹介することで地域の皆様に育てられてきました。今後はさらに、医師が行う在宅医療としての訪問診療・往診・リモート診療や訪問看護や訪問リハビリテーションなどの在宅医療をにうことにより、地域に親しまれ、信頼され、愛される病院を目指します。

120余年に渡り、地域の皆様に育てられてきました。そしてこれからもこのまちと共に未来をあゆんでまいります。

基本理念 病院は地域そしてスタッフのもの  
目 標 地域に求められる良質かつ適切な医療を提供できる病院  
快適で活力ある働きがいのある病院

### 重症熱性血小板減少症（SFTS）について



山口県厚生農業協同組合連合会  
周東総合病院  
病院長

#### 馬場 良和

重症熱性血小板減少症（SFTS）はウイルスを保有するマダニにかまれることで感染し、6から14日の潜伏期間後に原因不明の発熱と腹痛で医療機関を受診されます。血液検査で血小板減少や白血球減少、AST、ALT、LDHの上昇を認めます。保健所と連絡を取り、山口県環境保健センターに血液を送りPCR検査によって確定診断が可能です。残念ながら、有効なワクチンと治療薬がなく、発症すると死亡率は10-30%になります。特に当地で野山に入ることの多い80から90歳代の方が発症すると、かなりの死亡率になります。2013年に山口県で本邦1例目が報告され、西日本に多い病気です。

当院のある柳井医療圏は、以前からSFTSが多い地域でしたが、今年の4月と5月に4人の患者さんを経験しました。このうち3人は、すべて同一の町内の方でいずれも農作業中にマダニにかまれた方です。短期間で患者が多く発生したので、山口県とともに、その町の保健センター、医師会長、農協にそれぞれ連絡し、住民に対し啓発活動を行っていただくようお願いしました。対策については国立感染症研究所昆虫医学部のホームページに記載されています。

- ・野山に入る時は、肌の露出をなるべく減らし、マダニに対する虫除け剤を適切に使う
- ・農作業後はシャワーや入浴を行いマダニが付いていないか確認する

こういった啓発活動によりマダニ咬傷による病気が少しでも減ることを祈っています。

## 病院スタッフコーナー

### がんリハビリテーションをはじめました



山口県厚生農業協同組合連合会  
小郡第一総合病院  
リハビリテーション科  
作業療法士

和田 瑞希

当院は整形外科領域においては県内のみならず県外からも多くの患者様が受診されます。運動器リハビリテーションが中心となりますが、新型コロナウイルスの影響もあり新たなリハビリ領域に取り組もうとがんリハビリテーションの勉強を始め、チーム研修を受け2022年1月より運用開始となりました。

当院では、がん患者様の9割以上がADL自立傾向にあります。ですので、従来は運動指導のみとなっていました。しかし、院内ADLが自立していれば自宅で、施設で不自由なく活動できるのか？と言われればこれは誰もが“否”と答えるでしょう。限られた生活スペースではどうしても廃用症候群は進んでしまいます。日常生活は行えても、退院後の体力に不安を抱える患者様は沢山おられます。がんである故の精神的なストレス、苦痛、今後の不安、たくさんの情報の中で抱える不安を私たちがほんの少しでも担う事ができないか、と考える退院後の楽しみが実現できることを目標に体力訓練や化学療法後の悪液質コントロールを行います。また、訪問リハビリを兼務しており在宅復帰後のフォローも専門研修を修了したスタッフが介入します。

この1年で沢山の事を学び、経験の中で得た課題を解決していく度、チームも少しずつ成長しています。当院を選んで良かったと思っただけのように常に向上心をもって取り組んでいきたいと思えます。

### 心のサポートで取り組んでいること



医療法人和同会  
宇部西リハビリテーション病院  
公認心理士

田中 磨弥

当院は、平成24年7月に当地に新築移設し、宇部西リハビリテーション病院と改称し新たにスタートして今年で11年目を迎えました。

当院は、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、医療療養病棟、介護医療院、及び、一般外来診療、居宅介護支援、通所リハ・介護、訪問介護・看護、メディカルフィットネスを担う各部署、グループホーム、生活支援ハウスを有しております。更に、介護付き有料老人ホームも併設されており、地域の医療・介護・福祉を担う複合型多機能施設群（宇部西FITタウン）として、地域貢献に努めております。

このような機能をもつ当院での公認心理士の業務は、病棟患者さんの心理評価、メディカルフィットネスでのオーバートレーニング評価、職場内心理相談室開設や復職支援と、対象も異なる幅広い心に関する業務を行っております。

特に、このコロナ禍では医療・介護・福祉に従事する職員の心のサポートに注目して、宇部西FITタウンの新規入職者全員に、入職後1年間、年3回の心理面接を行ってきました。昨年度の実施後アンケートでは、全ての対象者から「面接があって良かった」と回答が得られ、94%からは「心の健康に関心をもてた」と回答が得られました。

医療・介護・福祉に従事する職員自身が、心身共に健康を保ちながら、継続して働くことができるように、サポートに注力することも微力ながら公認心理士の役目だと思っております。

## 病院スタッフコーナー

### 前はどこに居たの？



美祢市立美東病院  
医療技術部長兼薬剤科長  
薬剤師

井本 秀樹

この言葉は当院に勤務し始めた頃に良く聞かれた事であるが、まじめに返答するとほぼ皆さんにドン引きされ微妙な緊張が伝わります。

当院は秋芳洞、秋吉台近くにある緑豊かな山間に位置しています。そんなゆったりと時間が流れる場所で先ほどの質問に対して「はい！ 刑○所にいました」と、まじめに答えると先ほどの雰囲気になるのは、説明不足からくる勘違いだと思いますが、どこに居たの？ ○務所に居ました……特に間違えはありません。

説明不足を原因とする勘違いはしばしば医療の現場でも起こる事だと思います。

以前勤務していた島根県の病院では、患者にはできるだけ専門用語を使わずに丁寧に説明しなさい、また職員同士でも10説明しても伝わるのは半分以下、だからこそ丁寧な説明が必要だと教わりました。

私は一時期ですが薬剤師から離れ専門学校に通い、その後各地（徳島、香川、島根、山口、沖縄、広島）を転々とし、病院だけではなく、企業、ドラッグストア、調剤薬局、卸と色々な業態に従事し、必要に応じてフォークリフト、パワーショベル（ユンボ）の免許も所得しました。転職先での人の繋がりは今でも私の大切な財産となっています。

10カ所目の勤務先となった当科には3名の薬剤師が在籍しています。そのうちの1名は元同僚、もう一名は元門前薬局勤務というなかなかの巡りあわせのメンバーで、ここ美東町の地域医療に微力ながら貢献出来る様に3名の薬剤師と薬剤事務1名で様々な業務に取り組んで行きたいと思っています。

Q&A

前はどこに居たの？

法務省 法務事務官 法務技官として、○○刑務所に勤務していました。

### 多職種協働支援における作業療法の役割



社会福祉法人恩賜財団済生会支部  
山口県済生会豊浦病院  
リハビリテーション科  
副技師長

齊藤 隆一

作業療法士の国家資格を得て20年目を過ぎ、やっと成人を迎えました。

私は275床のケアミックス型病院に勤務し、急性期～在宅生活の治療やケアに携わっています。私が作業療法士になった頃を振り返ると、作業療法室で個別もしくは集団で患者さんに作業療法を提供していました。そして医師や看護師に対し個々で情報共有し、患者さんの支援にあたっていました。この20年、特に近年は多職種協働支援の流れが促進され、患者さん1人に対して様々な職種が協働して介入するようになってきました。

数年前に働きながら大学院に進学し、「多職種協働支援による大腿骨近位部骨折のせん妄予防プログラム」の研究を行いました。更に、認知症の人の在宅復帰支援プログラム「おかえりプロジェクト」を院内で立ち上げて多職種協働で支援しています。両者とも目標・方針に沿い、各職種が専門性を持ち適時介入して情報共有を密に行う特徴を持っています。その中で作業療法士は、患者さんの今までの生活や作業歴、退院後必要となる作業を丁寧に聴取すること、ADL・IADL（手段的日常生活活動動作）練習とともに作業課題にも介入すること、それらの情報を家族も含む多職種と機動的に共有することの役割を担っています。せん妄発生率は大幅に減り、認知症の人の在宅復帰率及び退院後の作業に対する遂行度・満足度の向上も図れ、多職種協働支援プログラムの効果を実感しています。

今後也多職種協働支援の中で作業療法の役割をいかし、患者さんの笑顔を多く引き出せるよう日々取り組んでいきたいと思っています。

## 研修会報告

### 令和5年度 病院看護師長研修会

令和5年6月13日（火）、セントコア山口にて病院看護師長研修会が開催され、久しぶりの集合形式での研修に48名が参加した。

研修会のテーマ・講師は以下のとおり。

テーマ 「言葉の力でコミュニケーションアップ！ ペップトーク」

講師 Kmind代表

松永 佳世子 氏

松永氏は、スポーツの世界で用いられる「激励のショートスピーチ」であり、近年では企業等にも導入されているペップトークを使ったコミュニケーション方法について、ワークを取り入れつつ解説された。

受講者アンケートでは「興味はあったが学ぶのは初めて」と回答した受講者が最も多く、研修内容については「日々使っている言葉を改めて考えるきっかけとなった」「家族、職場の仲間への声かけとして直ぐにでも実践したい」などの意見があり、良好な評価であった。



松永 佳世子 氏



研修会風景

### 令和5年度 病院初級職員研修会

令和5年6月19日（月）、セントコア山口にて病院初級職員研修会が開催され、入職後概ね3年目までの職員81名が参加した。

研修会のテーマ・講師は以下のとおり。

テーマ 「病院で働くために必要な接遇技術」

講師 有限会社ケイ・アンド・ワイ

人材育成部門 代表

温品 富美子 氏

今回の参加者中、約三分の二が接遇研修を初めて受けるとのことで、講師の温品氏は社会人として必要な姿勢からはじめ、基本の接遇技術について説明された。受講者は二人一組でのワークを行いつつ、三時間半の研修を終えた。

「自分が正に困っていた点について教えていただいた」「部署以外の方と接点が無いため、あまり関係なく思っていた」「誰にも教えてもらえなかった敬語やビジネスマナーを学ぶことができた」など、コミュニケーションスキル習得の貴重な機会として真剣に取り組んでいただけたことが、受講者アンケートから窺えた。



温品 富美子 氏



研修会風景

## 諸会議報告

### 令和5年度 第1回理事会

日時 令和5年5月18日（木）15:00~16:30

開催場所 セントコア山口

#### 【議事】

- 令和5年度定時総会提出議題について
  - 令和4年度事業報告及び収支決算書について
  - 任期満了に伴う理事及び監事の改選について
  - 顧問の委嘱の承認について

#### 【承認事項】

- 令和5年度優良職員表彰について
- 令和5年度医療懇話会について
- 令和5年度病院看護師長研修会の開催について
- 令和5年度病院初級職員研修会の開催について
- 一般社団法人山口県病院協会参与の委嘱の承認について

#### 【協議事項】

- 病院団体金融懇談会について
- 第27回四県病院協会連絡協議会について
- 医療経営講習会について

#### 【報告事項】

- 県行政委員等の推薦について
  - 山口県予防保健協会理事  
副会長 神徳 眞也（再任）
  - 山口県循環器病対策推進協議会委員  
副会長 神徳 眞也（再任）
  - 山口県高齢者保健福祉推進会議委員  
常任理事 高橋 幹治（再任）
  - 山口県看護職員確保対策協議会委員  
常任理事 玉木 英樹（新任）
  - 山口県救急業務高度化推進協議会委員  
常任理事 西田 一也（再任）
  - 山口県公衆衛生協会評議員  
常任理事 西田 一也（再任）

・山口県救急業務高度化推進協議会幹事  
理事 橋谷田 博（新任）

- 県各種委員会等の経過報告について  
三浦会長

・第3回山口県医療審議会（3月13日）  
・第111回山口県医療審議会医療法人部会（3月13日）

神徳副会長

・第2回山口県医療対策協議会専門医制度部会（3月29日）

玉木常任理事

・訪問看護推進協議会（3月16日）  
・第1回山口県社会福祉審議会（3月23日）

茶川常任理事

・山口県看護職員確保対策協議会（3月23日）

#### 【その他】

### 令和5年度 臨時理事会

日時 令和5年6月1日（木）16:20~16:30

開催場所 山口グランドホテル

#### 【議事】

- 山口県病院協会理事の役職の選定について
- 山口県病院協会役員業務分担について
- 山口県行政委員等の推薦について

#### 【その他】

### 令和5年度 第1回情報管理委員会

日時 令和5年6月14日（水）15:30~16:30

開催場所 セントコア山口

#### 【協議事項】

- 7月号の発行について
- 10月号の発行準備について
- その他

## お知らせコーナー

### 優良看護職員 厚生労働大臣表彰 受賞

令和5年6月7日（水）、宇部興産中央病院 経営管理部顧問の上田 三千代 氏が、幕張メッセで行われた公益社団法人日本看護協会通常総会において、優良看護職員の厚生労働大臣表彰を受賞されました。

おめでとうございます。



# お知らせコーナー

## 山口県健康福祉功労者（優良看護職員）知事表彰

令和5年6月17日、山口県病院協会より推薦した8名の方が、多年にわたり看護業務に従事した功績により、山口県健康福祉功労者（優良看護職員）知事表彰を受賞されました。  
おめでとうございます。

氏名	病院名
桑田 理恵	徳山中央病院
水津 幸代	宇部興産中央病院
高橋 和子	山口県立総合医療センター
田坂 憲子	阿知須同仁病院
長尾 佳子	山口労災病院
宮崎 綾子	山口大学医学部附属病院
安永 彰子	岩国市医療センター医師会病院
山田 勝江	徳山医師会病院

（氏名の50音順にて表記）



表彰式にて

（前列左から高橋氏、田坂氏、長尾氏、  
後列左から宮崎氏、安永氏、山田氏）

## 会員等の異動

### 会員の变更

- 山口大学医学部附属病院
- 関門医療センター
- 山口労災病院
- 済生会山口総合病院
- 徳山医師会病院
- 宇部協立病院
- 光中央病院
- 柴田病院

### 变更后病院長

- 松永 和人
- 吉野 茂文
- 加藤 智栄
- 郷良 秀典
- 中村 和行
- 坂田 勇司
- 杉山 一彦
- 高芝 潔

### 变更前病院長

- 杉野 法広
- 林 弘人
- 田口 敏彦
- 城甲 啓治
- 山本 憲男
- 上野 尚
- 丸岩 昌文
- 西田 輝夫

## 病院協会の主な行事予定

○7月7日	正・副会長、顧問会議	（会場：かめ福オンプレイス）
○7月14日	事務長部会総会および研修会	（会場：セントコア山口）
○7月19日	第2回理事会	（会場：KKR山口あさくら）
○7月31日	看護部長部会総会および研修会	（会場：セントコア山口）
○8月2日	金融懇談会	（会場：割烹 福助）
○8月25日	医療懇話会	（会場：セントコア山口）

### 編集後記

◆4年振りに定時総会の全スケジュールが開催でき、新たな三浦会長新体制が始まりました◆医師の時間外労働上限規制が開始されるまで、あと9か月足らずとなりました。精神科産業医協会の神村裕子医師はシンポジウムで、「これからの先生たちは、長時間労働は健康に悪影響を与えるだけでなく、家族や友人とのコミュニケーション、社会とのつながりを持つ時間が削られるということを認識することと同時に、他職種の労働上の権利を尊重し、守る立場にもある」と強調されています。いよいよです◆今年の夏の暑さは平年並み(?)だそうです。ご自愛ください。

（西田 一也）